

わらわら

夏号

民話を 楽しもう



「わらわら」の
趣意を込めて
「わらわら」

「じいちゃん、
どんなお話を
あつたの？」



民話
ゆうき

化け地蔵



弘経寺くわんきょうじのけいだいに一つの
地蔵尊があります。

これはいつのころからのもの
であるのか、はっきりしませ
んが、ふつうの地蔵尊とはち
がって、身のたけは台座から
三メートルあまりもある大き
なものです。

そのうえ、顔もいかめしく、
けわしい表情をしています。

むかし、この弘経寺の近く
に酒屋ととうふ屋がありました。



ある夜のことでした。

ゆうがたになって降りだした
雨は、夜ふけになると激しく
なり、あらあらしく雨戸をう
ちました。



ちょうどそんなとき
でした。

とうふ屋の店の戸をた
たくものがあります。
「こんばんわ。こんば
んわ。」

あまり夜がおそいので
店の小僧はふしんに思
いながら戸をあけてみ
ました。すると、
みのを着、かさをか
ぶったみすばらし
い一人の男が
立っていました。

表紙

民話を楽しもう-1
P2
民話を楽しもう-2
P3
エッセイスト・イラスト
レーター紹介
P4
じいちゃんのひとり言
P5
wako ちゃん no ぶらり旅
P6
オープンガーデン
P7
お年寄りの知恵
P8
イベント情報 お知らせ

“わらわら”
Vol.1 発行について

私達の豊かな生活とは
なんでしょう。
過ぎ去った昔の良いと
ころ、未来に向かう今の
良いところ、そんな昔と
未来がバランス良く受け
入れられたらいいです。
お年寄りの知恵の素晴
らしさ。温かい心。若い
方の活気あふれるエネ
ルギーなど、紙面を通
して紹介していきたいと
思っています。

★わらわら協賛店「一七ス引換券」
有効期限：2010年
7月わらわら発行～
8月31日まで

3

「とうふを二丁売ってくださった。」
 こんなにおそくなつてすみませ
 ん。

男はそういつて、一本のとうくり
 をさしました。

小僧はおかしく思い、

「そのいれもの
 にはとうふは
 入りません。」
 とことわりま
 したが、あま
 りにも強くい
 うので、その
 とうくりにと
 うふをいれた
 ところ、形も
 くずれずに
 はいってしま
 いました。

ますますふしぎに思った小僧は、
 その男のあとをつけてみました
 が、弘経寺のけいだいにある
 地藏尊のところで、姿を見うし
 なっていました。



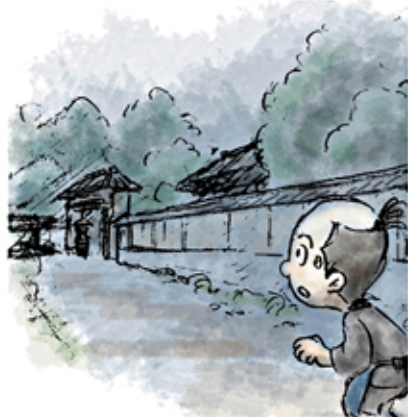
4

あくる夜、ふしぎなことが、こん
 どは酒屋でおこりました。夜ふけに
 一人の男が主人を起こし、酒を買お
 うとしました。そして、その男は一
 つのざるをさしました。主人は、
 「ざるに酒は入らないよ。」と
 ことわりましたが、あまり熱心にた
 のみこむので、ざるに酒をそそいだ
 ところ、なんと酒は一てきもこぼれ
 ずにはいつてしまいました。



5

ふしぎに思った主人が
 男のあとをつけたところ、
 やはりあの地藏尊のところで
 姿が見えなくなりました。



6

よく日になって、酒屋の
 主人は、ゆうべの地藏のあ
 たりへ来てみると、その地
 蔵尊の口もとに、とうふの
 食べかすがたくさんついて
 いたということです。

そこで、ゆうべの男も、
とうふ屋に行った男も、と
もに地蔵の化身にちがいな
いということになり、この
地蔵尊を化け地蔵
と呼ぶようになった
たということですよ。

おしまい



文・結城市教育委員会
挿絵・佐々木明